企業・団体名（　医療法人共生会　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認しており、特に女性リーダーの育成に力を入れています。その結果、女性管理職率は50%に達しています。また、やまなし「えるみん」の認定を受けており、女性・男性ともに看護休暇の取得実績があります。このような取り組みにより、職員が平等に働ける環境を整備し、多様性を尊重した組織の発展を目指しています。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐため、ルールや教育、相談体制を整備しています。特に、ハラスメント防止に向けたマニュアルを整備しており、職員に対して定期的な研修を実施しています。この研修では、ハラスメントの種類や防止策についての理解を深めるとともに、相談窓口の利用方法についても周知しています。これにより、職場環境の安全性を高め、全ての職員が安心して働ける環境の確保に努めています。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	過度な長時間労働が行われていないことを確認しています。特に、時間外勤務が増加しないよう努めており、シフト管理や業務の効率化を徹底しています。また、定期的に職員の労働時間をモニタリングし、必要に応じて業務の見直しを行うことで、職員の健康とワークライフバランスの維持に努めています。このような取り組みを通じて、職場環境の改善と職員の満足度向上を目指しています。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	現在、外国人労働者の在籍はありませんが、今後の受け入れについて検討を進めていく予定です。このため、外国人労働者が安心して働ける環境を整えるための方針や研修プログラムの策定を検討し、多様なバックグラウンドを持つ職員が共に働くことができる職場づくりを目指しています。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	業務中の事故防止を徹底するため、安全で快適な労働環境の整備に取り組んでおり、定期的な安全点検や衛生管理の実施を行っています。また、職員に対しては安全教育を定期的に実施し、事故発生のリスクを低減するための意識向上を図っています。このような取り組みを通じて、職員が安心して働ける環境を提供し、サービスの質向上に努めています。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	毎年度、メンタルヘルスチェックや予防接種を行い、職員の心身の健康管理を徹底しています。また、定期的な研修を通じてメンタルヘルスに関する知識を深め、職員同士のコミュニケーションを促進することで、支え合う職場づくりに努めています。これらの取り組みを通じて、職員が安心して働ける環境を整備し、職場全体の活力向上を目指しています。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	やまなしえるみんの認定を受け、女性が活躍できる職場環境を構築しています。また、高齢者を介護助手として採用することで、経験豊富な人材を活用し、地域のニーズに応えたサービスの提供を目指しています。これらの取り組みにより、全ての職員がその能力を最大限に発揮できる職場環境を実現しています。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	定期的な健康診断を実施し、運動プログラムを導入することで、従業員の健康維持を図っています。また、健康的な食事の提供を行うことで、栄養バランスを考慮し、仕事への意欲を高める環境を整えています。これにより、従業員の健康が促進され、結果としてより良いサービスの提供につながっています。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	介護技術向上のための定期的な研修や、認知症ケアやリハビリテーションに関する専門セミナーへの参加を促進しています。また、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を通じて実践的なスキルを習得できる環境を整え、キャリアアップを支援しています。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	正職員とパート職員の業務内容や責任に応じた賃金体系を整備し、同等の業務に対しては公平な報酬を支給しています。また、評価制度を透明にし、定期的な業務評価を通じて全従業員の能力や成果に応じた報酬を適正に反映させる取り組みを行っています。								○		○							

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物の適切な処理に努めており、『事業系一般廃棄物減量化等計画書』を提出することで削減に取り組んでいます。具体的には、リサイクル可能な資材の分別収集を徹底し、廃棄物の発生を最小限に抑えるための教育を職員に対して定期的に実施しています。また、不要な物品の見直しや、再利用可能な備品の導入を進めることで、廃棄物の削減に寄与しています。さらに、廃棄物処理業者との連携を強化し、適切な処理を行うことで環境への配慮を実践しています											○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	自施設のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めています。具体的には、太陽光発電システムを導入することで、再生可能エネルギーの活用を促進し、施設内で使用する電力の一部を自給自足しています。この取り組みにより、電力コストの削減に寄与するとともに、環境への負荷を軽減しています。さらに、エネルギー使用状況を定期的に分析し、効率化のための改善策を検討・実施することで、持続可能な運営を目指しています							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	自施設の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に向けた取り組みを進めています。具体的には、太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの活用を推進することで、電力使用に伴う温室効果ガスの排出量を削減しています。この取り組みにより、施設内でのエネルギー自給率が向上し、電力コストの削減と環境負荷の軽減を同時に実現しています。また、定期的に排出量のモニタリングを行い、さらなる削減策の検討・実施を通じて、持続可能な運営を目指しています。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	施設内で使用している化学物質の中には、法令で特に規制されている有害化学物質は含まれていないことを確認しています。また、環境への影響を最小限に抑えるため、代替品の検討や使用の最小化を図っており、職員に対しても定期的な研修を実施し、適切な取り扱いに関する意識を高めています。このような取り組みを通じて、施設の安全性と環境保護を両立させることを目指しています			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	当施設では、自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう、緑地の保護・活用、廃棄物の適切な管理、持続可能な資源利用、教育・啓発活動を通じて、環境への配慮を徹底しています。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	当施設では、今後の方針として水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めてまいります。具体的には、給水設備の定期点検を実施し、漏水や無駄な使用を防ぐためのメンテナンスを強化します。また、節水型の設備を導入し、職員や利用者への啓発活動を通じて水の利用効率を向上させることを目指します。これにより、必要な水量を確保しつつ、環境負荷の軽減を図っていきます。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	自施設の環境への取り組みに関する情報を収集し、今後積極的に開示していく方針です。具体的には、環境管理活動の結果や廃棄物削減の実績、エネルギー使用量のデータを定期的にまとめ、施設内の掲示板やニュースレターを通じて職員や利用者に周知していく予定です。また、地域の環境イベントに参加し、取り組みを地域社会にも広く知らせることで、環境意識の向上に寄与してい												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	施設の屋上に太陽光発電システムを導入し、発電した電力を施設内でのエネルギー供給に活用しています。これにより、電力コストの削減に加え、環境負荷の軽減にも寄与しています。利用者やスタッフの環境意識を向上させるため、今後は再生可能エネルギーの重要性に関するセミナーやワークショップを定期的に開催してまいります。今後は、さらなる再生可能エネルギーの導入を検討し、持続可能な運営を目指していく方針です。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	環境に優しい製品や資材を優先的に選定し、リサイクル可能な材料を使用することに努めています。また、地元の農産物を積極的に取り入れた食材調達を行い、輸送時の環境負荷を軽減することで、地域経済の活性化にも寄与しています。さらに、持続可能な漁業や森林管理に基づいた製品の購入を心掛け、資源の枯渇を防ぐための取り組みを進めています。												○	○	○	○		
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	紙の使用を削減するために電子カルテを導入し、不要物品を他の部門や利用者に譲渡する仕組みを整備しています。また、リサイクル可能な資源を適切に分別し、定期的にリサイクル業者と連携して資源の再利用を促進しています。これらの活動を通じて、資源の有効活用と環境負荷の低減を図り、持続可能な運営を目指しています。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	今後、汚職や贈収賄を禁止する方針を明確に掲げ、これを全職員に周知徹底するための教育プログラムを定期的に実施します。具体的には、職員に対して倫理教育やコンプライアンス研修を行い、透明性のある業務運営を促進します。また、職員が不正行為を発見した場合に報告できる体制を整備し、安心して相談できる窓口を設置することで、職場全体の信頼性向上を図ります。今後も、これらの方針をさらに強化し、クリーンで公正な運営を推進していく所存です																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	今後、不正競争行為に関与しない方針を明確に掲げ、全職員に対してこの方針を理解させるための教育プログラムを定期的に実施します。具体的には、競争法や商業倫理に関する研修を行い、職員が正当なビジネス慣行を遵守する重要性を強調します。また、情報の取り扱いや競合他社に関するデータ収集に関するルールを定め、透明性のある業務運営を促進します。今後も、不正競争行為の防止に向けた取り組みを強化し、職場全体で倫理的な行動が定着するよう努めてまいります。																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	自施設のロゴマークを商標登録し、施設のブランド価値を守ることに努めています。また、知的財産に関する社内規定を整備し、職員に対してその重要性を教育するプログラムを定期的に実施します。今後も、知的財産の保護に向けた活動を強化し、外部からの侵害を防ぐとともに、施設の理念やサービスを適切に表現するための取り組みを推進していく方針です。								○	○								

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	法律に基づき、個人情報保護方針を策定し、職員に対して定期的に研修を実施しています。これにより、個人情報の取り扱いに関する理解を深め、職員全員が高い意識を持って情報管理に努めるよう促しています。また、利用者の個人情報を含む書類やデータは、アクセス制限を設け、適切な保管場所で管理しています。今後も、個人情報保護に関する法令の遵守と、利用者の信頼を確保するための体制を強化していく方針です。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	サプライヤーや事業パートナーに対して、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境など)の防止を求めています。また、生物多様性や生態系への悪影響を防ぐための取り組みを推進し、持続可能な業務運営を目指しています。さらに、ハラスメントや汚職、贈収賄の防止に関しても倫理的な対応を求めており、定期的な監査や評価を通じて、パートナー企業との協力関係を強化しています。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	自施設のサービスの安全性を確保するため、リスクマネジメント体制の整備やスタッフ教育の実施、利用者からのフィードバック収集、衛生管理の徹底を行い、今後も安全性向上に向けた改善に努めてまいります。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	自施設では、利用者ニーズの把握、スタッフの教育・研修、サービスの標準化、そして安全管理の徹底を通じて、顧客に質の高いサービスを提供するための仕組みを確立しています。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	自施設では、環境に配慮した製品の開発・設計を進めるため、リサイクル可能な材料の使用、エネルギー効率の高い機器の導入、さらには廃棄物の削減を意識した運営方針を採用しています。これにより、持続可能な環境を意識したサービス提供を行っています。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	自施設施設では、社会課題を解決するために、認知症ケアに特化したプログラムや高齢者向けのリハビリテーションサービスを開発・展開しています。また、地域との連携を強化し、訪問看護や通所リハビリを通じて、高齢者が地域社会で安心して生活できる環境づくりを推進しています。これにより、社会全体の福祉向上に寄与しています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	自施設では、自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、地域住民との交流イベントやボランティア活動を定期的に開催しています。また、地域の健康促進や福祉向上を目指して、医療機関や福祉団体と連携し、情報提供や相談窓口を設けることで、地域のニーズに応える取り組みを進めています。これにより、地域社会に対する責任を果たし、持続可能な関係を築いています。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	今後も寄付やボランティア活動を通じて社会貢献に積極的に取り組んでいます。今後も寄付やボランティア活動を通じた社会貢献に積極的に取り組んでいく方針です。地域の福祉施設や学校への支援を継続するとともに、スタッフが参加するボランティア活動を定期的に実施し、高齢者や障がい者への支援、地域イベントへの参加を通じて地域社会とのつながりを一層深めてまいります。これにより、地域の人々との交流を促進し、社会的な責任を果たしていく所存です。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	当施設では地域資源の積極的な利用をさらに推進していく方針です。具体的には、地元の農家や漁業者との連携を強化し、旬の新鮮な食材を活用したメニューの提供を行います。また、地域の特産品を用いたイベントや販売促進活動を企画し、利用者やその家族に地域の魅力を伝える機会を増やしていきます。これにより、地域経済の活性化に寄与し、地域とのつながりをより一層深め								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	新入職員に対しては入職時研修を実施し、既存職員に対しても定期的に法令遵守に関する研修を行います。また、法令遵守の推進と監視を目的としたコンプライアンス委員会を設置し、法令に関する最新情報の収集や法令違反の防止策を検討します。さらに、内部監査を定期的に実施し、業務が法令に則って運営されているかを確認します。職員が法令遵守に関する疑問や問題を気軽に相談できる窓口を設け、業務マニュアルも法令遵守を意識した内容に整備していきます。これにより、全職員が法令遵守の重要性を理解し、適切な業務運															○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	当施設では、経営理念とSDGsの関係を明確にし、全職員が理解できるように定期的な研修を実施しています。ミッションステートメントを作成し、SDGsとの関連性を示した資料を配布することで、各職員が自身の業務が社会にどのように貢献しているかを認識できるようにしています。また、月次全体会議で経営目標の進捗状況を共有し、具体的な課題を提示することで、職員が目標達成に向けて意識を持ち、協力できる環境を整えています。さらに、施設内に掲示板を設け、経営理念やSDGsに関連する活動の事例を常に目に触れるようにしています。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	法令遵守委員会を通じて最新の法令情報を職員に周知し、社内規定を定期的に見直します。次に、新入職員への研修を充実させ、全職員を対象に定期的な法令遵守研修を実施します。また、内部監査を通じて法令遵守状況を継続的に確認し、必要に応じて改善策を講じます。さらに、法令に関する相談窓口を設置し、職員が安心して意見を共有できる環境を整備します。これにより、安全で信頼される運営を目指します。															○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	新入職員に対しては、入職時に法令遵守に関する研修を実施し、既存職員に対しても定期研修を実施します。また、法令遵守の推進と監視を目的としたコンプライアンス委員会を設置し、法令に関する最新情報の収集や法令遵守に関する疑問や問題をお気軽に相談できる窓口を設け、業務マニュアルも法令遵守を意識した内容に整備していきます。															○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会																	○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	当施設では、ステークホルダーとの対話をさらに強化し、自らの活動が地域社会や利用者に及ぼす影響を捉え、正しく対応していく方針です。具体的には、定期的に地域交流会や利用者説明会を開催し、ステークホルダーからの意見や要望を積極的に収集します。、職員との意見交換の場を設けて、内部のコミュニケーションを強化し、職員全員が安心して働ける環境の整備を進めます。															○	○

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	当施設では、事故や災害による事業中断に備え、危機管理計画の見直し、職員の訓練強化、備蓄品の管理、地域との連携強化、利用者への情報提供の充実を通じて、迅速かつ適切な対応を目指します。									○		○		○			○	

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17